

水稲収穫後は**早めに秋耕を!**

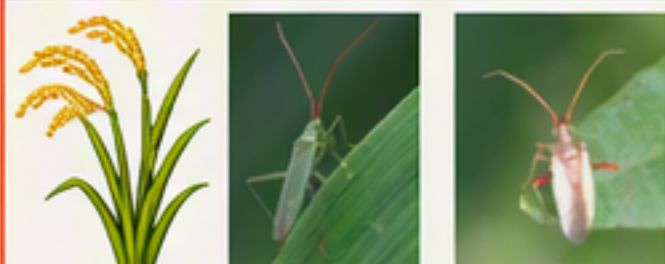
秋耕は獣害予防の第1歩!
地域ぐるみで獣の**エサ場**をなくしましょう

秋耕はメリットいっぱい!

害虫対策



ひこばえの発生を抑えて
水稲の斑点米カメムシなど
害虫の発生源を減らす



ひこばえを抑え、
害虫の**発生源**をなくす!

品質確保



ひこばえで形成された籾による
翌年の異品種混入リスクを
減らす



翌年の米の品質を
守ります!



ワキ防止



稲わら・稲株の分解を促進して
翌年度の水田のワキを防ぐ

ワキ(ガス)が出やすい水田



苗の活着が悪く、生育不良

ワキが出ない水田



苗の活着良く、生育良好

秋耕実施ポイント

時期



水稲収穫後から気温の高い
10月(ひこばえが出穂する前)までに

深さ



約10cm

10cm程度を目安

留意点



秋耕後に排水溝の設置等により
ほ場の乾きを促進し、稲わらなどの腐熟を図る

重要

イノシシ、サル、シカ
被害対策にも効果的!

- ① ひこばえや落ち籾は、
イノシシ、サル、シカの**エサ**となります。
- ② エサが豊富な水田周辺にイノシシ、サル、
シカが定着しやすくなり、翌年の農作物
被害拡大につながります。
- ③ 秋耕により2番穂の発生を抑え、
イノシシ、サル、シカの**エサ**を減らすことで、
食害防止と個体数増加の抑制につながります。



ひこばえ、落ち籾を出さない!

秋耕は翌年の米品質向上のほか、
地域ぐるみの取り組みで**イノシシ、サル、シカ**を寄せ付けない環境づくり!!